

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 1 概要

パチンコ店跡地に24時間営業の食料品スーパーマーケットを新設する(法第5条第1項)

### 2 届出の内容

届出年月日	令和7年4月1日		
店舗	店舗名称	スーパーセンタートライアル西尾一色町店	
	店舗所在地	愛知県西尾市一色町赤羽水出6-1	
設置者	名称	株式会社トライアルカンパニー	
	代表者	代表取締役 石橋 亮太	
	住所	福岡市東区多の津一丁目12番2号	
	その他	なし	
小売業者	名称	株式会社トライアルカンパニー	
	代表者	代表取締役 石橋 亮太	
	住所	福岡市東区多の津一丁目12番2号	
	その他	なし	
店舗面積	2,040 ㎡		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	73 台 (指針台数: 73 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	58 台
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	65 ㎡
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり
		容量	49.5 ㎡
施設の運営	営業時間	開店	24時間
		閉店	24時間
	駐車場利用時間帯		24時間(一部、午前6時～午後10時)
	駐車場出入口	数	4箇所
		位置	別紙図面のとおり
	荷捌時間帯		午前6時～午後10時
新設する日	令和7年12月2日		

### 3 参考事項

敷地面積	11,578 ㎡			
建築面積	2,880 ㎡			
延床面積	2,845 ㎡			
業態	総合店			
用途地域	準住居地域	第1種住居地域	—	—
備考				

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## 4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	都市計画及び中心市街地活性化基本計画等について情報収集し、検討する
(2) 深夜営業の対応	従業員による見回りを行います。
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	年末年始は交通整理員を配置
(8) 開店時の臨時措置	交通整理員を配置

## 5 施設の配置及び運営方法に関する事項

### 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

#### (1) 交通に係る事項

##### ア 駐車場の必要台数の確保

##### (ア) 小売店舗の必要駐車台数

##### a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率 B	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率 C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F $S/1000 \times A \times B \times C/D$	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
169,676人	2,040 ㎡	1,039	14.40%	-	70.00%	2.00 人	107 台	0.69	73 台

総駐車場台数	-	従業員等駐車場台数	-	業務用駐車場台数	-	搬出入用駐車場台数	-	併設施設駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
241 台	-	168台	-	0台	-	0台	-	0台	=	73 台	○

##### b 指針によらない「特別な事情」による算出

該当なし

##### (イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

##### a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積／店舗面積)	必要駐車台数
0 ㎡	0.0%	

総駐車場台数	-	従業員等駐車場台数	-	業務用駐車場台数	-	搬出入用駐車場台数	=	来客用駐車場台数	評価
241 台	-	168台	-	0台	-	0台	=	73 台	○

### イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走ホレーター:無	2平面自走ホレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	107 台

### ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

駐 車 場 ① 駐 車 場	種別	1	収容台数	2 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	-		
	出入口数		道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
	東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南	1箇所	市町村道	9.87m	なし	5m	0m	-	双方向	右左折混合	なし	-
	北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備									

駐 車 場 ② 駐 車 場 場	種別	1	収容台数	10 台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	前向き駐車		
		出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
	東	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	西	1箇所	国道	9.78m	あり	17m	0m	28	双方向	右左折混合	あり	○
	南	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	北	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通整理員等の配置		年間を通して混雑する時期のみ配備										

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

駐 車 場	種別	1	収容台数	61台	歩行者動線	非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	前向き駐車		
	出入口数		道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	評価
東	なし		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西	1箇所		国道	9.78m	あり	17m	0m	28	双方向	右左折混合	あり	○
南	なし		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北	1箇所		市町村道	9.87m	なし	30m	0m	51	双方向	右左折混合	なし	○
駐 車 場	交通整理員等の配置年間を通して混雑する時期のみ配備											

	駐車場の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価	○	○	○	○	○

## エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

## (ア) 交差点需要率等の検討

		休 日			平 日		
		現 況	開店後	評価	現 況	開店後	評価
交差点A	需要率	0.231	0.291	○	0.247	0.302	○
	将来交通量/可能交通容量	0.376	0.457	○	0.346	0.411	○
	ピーク時間帯	13時台			7時台		

右折の評価		休 日		平 日	
		評価		評価	
出入口②	運用	右折出庫		右折出庫	
	評価	平均		小	
	ピーク時間帯	13時台		7時台	
出入口③	運用	右折入庫		右折入庫	
	評価	遅れなし		遅れなし	
	ピーク時間帯	13時台		7時台	

## オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	建物南側に1箇所設置します。
駐輪場の収容台数	58台
標準収容台数	58台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価
○	○

## カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	10台
位置及び箇所	建物南側駐輪場横付近に1箇所		

位置評価	台数評価
○	○

## キ 荷捌施設の整備等

### (ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	65㎡	なし	20分	1台	2台	○

### (イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
6:00～7:00	2台	7:00～8:00	2:00～3:00	なし	なし	○

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## ク 経路の設定等

### (ア) 車両関係

#### a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	チラシ配布	回避	非回避	回避	あり

#### b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

※非配備の場合等の対応

従業員等により、誘導を行います。

#### c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

#### d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

### (イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	必要なし

評価
○

### (ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

### (エ) 防災・防犯対策への協力

#### a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

#### b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	あり	検討中です。

評価
○

## 2 生活環境悪化防止関係

### (1) 騒音発生に係る事項

#### ア 騒音問題対応策

##### (ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	20 m	なし	来客車両、設備機器	2m	なし	-
西方向	なし	なし	来客車両、設備機器、大型車両	3m	なし	-
南方向	80 m	なし	来客車両	なし	なし	-
北方向	20 m	なし	来客車両、設備機器	なし	なし	-

遮音壁の影響	計画している遮音壁は設備に対するものであり、敷地境界側への設置ではないため、日影影響等ございません。
--------	--

### (イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	特になし
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、時間調整による搬入待機車削減
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

### (ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、必要最小限の稼働、定期的なメンテナンス
給排水口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、必要最小限の稼働、定期的なメンテナンス
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

### (エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	該当なし
運営面の騒音配慮	該当なし

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	19	冷却塔		給排気口	27	変電施設		浄化槽		ポンプ			
		冷凍機室外機	7	キュービクル	1										
	変動騒音	自動車走行	○	後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM		アナウンス					
		ゴミ収集作業	○	アイドリング											
衝撃騒音	荷降し音	○	台車走行	○											
建物の構造(高さ)		鉄骨造1階建(6m)													

## (ア)等価騒音レベル予測

		北(A)	東(B)	東(C)	東(D)
用途地域		準住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	48.8 dB	45.7 dB	36.5 dB	43.1 dB
	評価	○	○	○	○
	夜間等価騒音レベル	42.1 dB	36.4 dB	34.8 dB	36.0 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		西(E)	西(F)		
用途地域		準住居地域	準住居地域		
昼間基準値		55 dB	55 dB		
夜間基準値		45 dB	45 dB		
設置者	昼間等価騒音レベル	43.4 dB	52.4 dB		
	評価	○	○		
	夜間等価騒音レベル	36.7 dB	41.2 dB		
	評価	○	○		
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当		
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当		

## ※基準値を超えた場合の対応等

すべての予測地点において、昼間及び夜間の等価騒音レベルは環境基準を満たします。  
万が一、周辺の住民の方から苦情等発生した場合には真摯に対応します。

# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## (イ) 夜間における騒音ごとの予測

A 商工業地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無		無			
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					
		東(P1)	東(P2)	東(P3)	西(P4)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	準住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	42.4dB	39.2dB	28.7dB	31.2dB
	評価	△	○	○	○
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	29.5dB	31.0 dB	39.9dB	46.8dB
県	評価	○	○	○	△
	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		西(P5)	西(P4')	西(P4'')	
用途地域		準住居地域	準住居地域	準住居地域	
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	
基準値		40dB	40dB	40dB	
設置者	定常騒音の騒音レベル	46.2dB	30.9dB	30dB	
	評価	△	○	○	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	30.7dB	40.5dB	39.7dB	
県	評価	○	△	○	
	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	

※基準値を超えた場合の対応等

予測地点P2・P3において、騒音レベルの最大値は規制基準を満たします。  
 予測地点P1(7.2m～19.2m)・P5(7.2m～13.2m)において、騒音レベルの最大値は規制基準を上回りますが、当該地点は2階建て住居であり、住居高さ(1.2m、4.2m)で基準を満たしているため騒音の影響は小さいと考えます。  
 なお、基準を超過する高さの保全対象物が設置される場合は、騒音の対策を検討します。  
 予測地点P4において、騒音レベルの最大値は規制基準を上回ります。  
 そこで、保全対象側(隣地敷地境界)にて再度予測いたしました。  
 予測地点P4'において、騒音レベルの最大値は規制基準を上回ります。  
 そこで、保全対象側(直近住居外壁)にて再度予測いたしました。  
 予測地点P4''において、騒音レベルの最大値は規制基準を満たします。  
 従って、周辺的生活環境への騒音の影響は軽微であると考えます。  
 万が一、騒音に関するご意見等頂いた場合には原因確認の上、必要な対策を行います。

## (2) 廃棄物関係

### ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	建物に内蔵し、密閉性を保ちます。
衛生問題関係配慮	廃棄物保管施設は定期的に清掃します。

## (ア) 小売店舗の必要保管容量

### a 指針に分類される廃棄物等

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	49.50 m³	1日	0.424 t	0.10 t/m³	4.24 m³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.014 t	0.10 t/m³	0.14 m³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.012 t	0.10 t/m³	0.12 m³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.041 t	0.01 t/m³	4.10 m³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.345 t	0.55 t/m³	0.63 m³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.110 t	0.38 t/m³	0.29 m³	変更なし	○
合計	49.50 m³	-	-	-	9.52 m³	-	○
保管日数の設定根拠	指針による						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						



# スーパーセンタートライアル西尾一色町店

## (ウ)小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
レジ袋削減の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
ダンボール不使用納品の実施	あり	食品トレーの回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

- ・自動販売機を設置する箇所には、空缶・空き瓶・ペットボトルの回収箱を設置する。
- ・買い物袋持参運動等でレジ袋削減に取り組む。

## (エ)廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

## イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	-
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

## ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	グリストラップを設置
併設施設からの悪臭防止対策	-

評価
○

## (3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	関係法令に基づいた計画とします。
	環境美化活動	○ 従業員により定期的に店舗敷地内及び周辺の清掃を行う。
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の住居に直接あたらないように配慮する	
敷地内の緑地計画	緑地設置なし	

評価
○

市町村の意見概要	対応
意見なし	—

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案
意見なし